

| 木更津工業高等専門学校 | 開講年度 | 令和06年度(2024年度) | 授業科目 | 技術者入門I |
|--|--|-------------------------------------|---|--|
| 科目基礎情報 | | | | |
| 科目番号 | 0052 | 科目区分 | 専門 / 必修 | |
| 授業形態 | 講義 | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 1 | |
| 開設学科 | 情報工学科 | 対象学年 | 1 | |
| 開設期 | 前期 | 週時間数 | 2 | |
| 教科書/教材 | | | | |
| 担当教員 | 米村 恵一, 和田 州平, 能城 沙織 | | | |
| 到達目標 | | | | |
| <p>技術者としての嗜みの基礎を習得するために、設定されたテーマの題意を満たすものを作る 作りたいものを自身で考え、そのものに対して、科学の視点から現象を整理し、どのように実現するか考える 実際にものを作る過程で、題意を満たす動きをするのかどうか、実験的検証を行う 完成したものに対する説明書を書く</p> | | | | |
| ループリック | | | | |
| 題意を満たすものを考える | 理想的な到達レベルの目安 妥当なものを考えることができる | 標準的な到達レベルの目安 ある程度妥当なものを考えることができる | 未到達レベルの目安 ものを考えることができない | |
| 考えたものの現象を整理する | 考えたものの現象を妥当に整理することができる | 考えたものの現象をある程度妥当に整理することができる | 考えたものの現象を整理することができない | |
| ものを作る | ものを効果的に作ることができる | ものを作ることができる | ものを作ることができない | |
| 説明書を書く | 有効性の高い説明書を書くことができる | ある程度有効性の高い説明書を書くことができる | 説明書を書くことができない | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | |
| 教育方法等 | | | | |
| 概要 | 技術者としての嗜みの基礎を習得するために、設定されたテーマの題意を満たすものを作る | | | |
| 授業の進め方・方法 | 作りたいものを自身で考え、そのものに対して、科学の視点から現象を整理し、どのように実現するか考える 実際にものを作る過程で、題意を満たす動きをするのかどうか、実験的検証を行う 完成したものに対する説明書を書く | | | |
| 注意点 | 正しくものを作ることは重要であるが、一般的な、いわゆる正解を導き出すことよりも大切なことは、その過程で考えること・考えたことである。講義スタッフやクラスメートとの議論も大切な時間となる | | | |
| 授業の属性・履修上の区分 | | | | |
| <input type="checkbox"/> アクティブラーニング | <input type="checkbox"/> ICT 利用 | <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 | <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業 | |
| 授業計画 | | | | |
| | | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 |
| 前期 | 1stQ | 1週 | 永久機関もどきを創ろう、というテーマの題意を満たすものを考える | アイデアを出す |
| | | 2週 | 永久機関もどきを創ろう、というテーマの題意を満たすものを考える | アイデアの実現可能性を検討する |
| | | 3週 | 永久機関もどきを創ろう、というテーマの題意を満たすものを考える | アイデアを実現するために購入する部品、準備する部品を検討する 現象を再検討する |
| | | 4週 | 永久機関もどきを創ろう、というテーマの題意を満たすものを考える | 部品によりアイデアが本当に実現できるのかを検討する 現象を再検討する |
| | | 5週 | 永久機関もどきを創ろう、というテーマの題意を満たすものを考える | アイデアと実現するための部品を整理する 現象を再検討する |
| | | 6週 | 永久機関もどきを創ろう、というテーマの題意を満たすものを作る | アイデアを形にする 現象を検証する |
| | | 7週 | 永久機関もどきを創ろう、というテーマの題意を満たすものを作る | アイデアを形にする 現象を検証する |
| | | 8週 | 永久機関もどきを創ろう、というテーマの題意を満たすものを作る | アイデアを形にする 現象を検証する |
| 後期 | 2ndQ | 9週 | 永久機関もどきを創ろう、というテーマの題意を満たすものを作る | アイデアを形にする 現象を検証する |
| | | 10週 | 永久機関もどきを創ろう、というテーマの題意を満たすものを作る | アイデアを形にする 現象を検証する |
| | | 11週 | 永久機関もどきを創ろう、というテーマの題意を満たすものを作る | アイデアを形にする 現象を検証する |
| | | 12週 | 永久機関もどきを創ろう、というテーマの題意を満たすものを作る | アイデアを形にする 現象を検証する |
| | | 13週 | 作ったものを効果的に説明するための動画を撮る 報告書としての説明書を書く | 動画や文書における効果的な紹介方法を考え実現する |
| | | 14週 | 作ったものを効果的に説明するための動画を撮る 報告書としての説明書を書く | 動画や文書における効果的な紹介方法を考え実現する |
| | | 15週 | 作ったものを効果的に説明するための動画を撮る 報告書としての説明書を書く | 動画や文書における効果的な紹介方法を考え実現する |
| | | 16週 | | |
| 評価割合 | | | | |
| 総合評価割合 | | 前期末報告書 | 合計 | |
| | | 100 | 100 | |

| | | |
|---------|----|----|
| ものを考える | 25 | 25 |
| 現象を整理する | 25 | 25 |
| ものを作る | 25 | 25 |
| 説明書を書く | 25 | 25 |